

News Letter No.6

2022/05/15



中央大学

**AI and Data Science
Center**

目次

- 1.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年第1回）株式会社GA technologies AI Strategy Center General Manager 橋本 武彦様 1
- 2.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第2回）株式会社GRI代表取締役上野勉様,アナリティクス&デベロップメント部データサイエンティスト望月優志様 1
- 3.AI・データサイエンス総合にて、株式会社ビデオリサーチの森本栄一様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施 2
- 4.2021年ノーベル物理学賞（受賞者：真鍋淑郎さん他）に関する共同通信社の取材に、AI・データサイエンスセンター所長 樋口知之が協力 2
- 5.副学長 佐藤信行とAI・データサイエンスセンター所長 樋口知之が規制改革推進会議「人への投資WG」に参加 3
- 6.データサイエンスセンター所長 樋口知之へのインタビュー記事が河合塾Guideline 2・3月号に掲載 3
- 7.副学長 武石智香子のインタビュー掲載 朝日新聞EduA【特集】境界を越えた学び「文理の壁」を壊す 4
- 8.プレスリリース：AI・データサイエンスの実践的な学びの場「iDSプログラム」を2022年4月より開始～8学部すべてから学生が集い、応用基礎レベルを修得～ 4
- 9.運用開始のお知らせ：AI・データサイエンスセンターChatbot 5
- 10.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第3回）株式会社日本データ取引所 事業企画部 部長 上島 邦彦様 6
- 11.理工学部・准教授 酒折文武がExploratory presents「学校からはじまるデータサイエンスの民主化」に登壇 6
- 12.所員 7

1.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年第1回）株式会社GA technologies AI Strategy Center General Manager 橋本 武彦様

データサイエンスの最新情報や現代的な課題、データサイエンスが創造・提供している価値などの紹介を目的に「オンライン・レクチャーズ」の公開をしています。オンライン・レクチャーβでは、社会の未来と題して、第一線で活躍されている実務家のみなさまから、ご講演いただいています。

今回は株式会社GA technologiesの橋本様より、不動産業界におけるデータサイエンス・AIの現状や、“データ”という新しいリソースを活用して問題解決できることの重要性などについてお話しいただいています。

オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第1回）株式会社GA technologies AI Strategy Center General Manager 橋本 武彦 様



動画より 株式会社GA technologiesの橋本様（右上）

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：株式会社GA technologies](#)

[リンク：株式会社GA technologies AI Strategy Center](#)

2.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第2回）株式会社GRI代表取締役上野勉様,アナリティクス&デベロップメント部データサイエンティスト望月優志様

オンライン・レクチャーβ 2021年度第2回は、株式会社GRIの上野様、望月様です。データサイエンスとデザイン力の融合によって提供される価値や、データサイエンスやエンジニアリング技術の習得方法についてお話しいただいています。

オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第2回）株式会社GRI 代表取締役 上野 勉 様、アナリティクス&デベロップメント部 データサイエンティスト 望月 優志 様



望月様（右）は本学理工学部数学科卒業、理工学研究科数学専攻を修了

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：株式会社GRI](#)

[リンク：これまでのオンライン・レクチャー](#)

3.AI・データサイエンス総合にて、株式会社ビデオリサーチの森本栄一様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施

2022年1月8日（土）「AI・データサイエンス総合」において、[株式会社ビデオリサーチ](#)の森本栄一様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施しました。

コーディネータの文学部・教授 安野智子から「社会調査とデータサイエンス」と題して、計量的社会調査や社会調査からわかることの解説があり、前2回の講義で受講者から寄せられた意見を基にして「テレビの役割」「Z世代と親の世代」について講師の森本氏とともに解説をすすめました。

また、学生から、社会調査や視聴率の調査方法について、これから学ぶべきことについてのアドバイス等、実際にビジネスで活動している森本様と質疑を行いました。



講義の様子

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:AI・データサイエンス全学プログラム \(中央大学受験生ナビ Connect Web\)](#)

4.2021年ノーベル物理学賞（受賞者：真鍋淑郎さん他）に関する共同通信社の取材に、AI・データサイエンスセンター所長 樋口知之が協力

共同通信社の取材に、AI・データサイエンスセンター所長 樋口知之が協力しました。

2021年度のノーベル物理学賞は、米国プリンストン大学上席研究員、真鍋淑郎さんを含む3名の方々が受賞されました。授賞理由「複雑な物理システムの理解への画期的貢献」について、以下の紙面に共同通信社の記事が掲載され、樋口のコメントが紹介されています。

■掲載新聞

[秋田魁新聞](#)

2021年12月3日6面 「気象予測」真鍋さんら複雑系科学にノーベル賞物理、新たな方向性後押し

[徳島新聞](#)

2021年12月13日4面 「複雑系科学」にノーベル賞 大規模現象秩序見いだす 未知の分野解明を後押し

[神戸新聞](#)

2021年12月12日13面 ニュース解く説く ノーベル物理学賞 新時代に？

[中部経済新聞](#)

2021年12月15日13面 焦点2021 複雑系科学にノーベル賞 未知の分野追求を後押し

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:株式会社共同通信社](#)

5.副学長 佐藤信行とAI・データサイエンスセンター所長 樋口知之が規制改革推進会議「人への投資WG」に参加

副学長 佐藤信行（法務研究科・教授）とAI・データサイエンスセンター所長 樋口知之（理工学部・教授）は、2022年1月31日（月）に開催された規制改革推進会議「人への投資ワーキング・グループ」（主催：内閣府）に参加し、中央大学の中長期事業計画とデジタル人材育成の取組について説明、委員とディスカッションをしました。

当日はWG構成員の皆様をはじめ、牧島内閣府特命担当大臣（規制改革）、木村政務官もご出席の上、オンラインにて開催されました。



副学長
佐藤信行（法務研究科・教授）



AI・データサイエンスセンター所長
樋口知之（理工学部・教授）

本学からは、2025年を達成年度としている中長期事業計画や、都心へのキャンパス展開について佐藤より説明し、本学の活動において留意すべき規制等についての見解を示しました。また、デジタル分野での人材育成等にかかる活動について、樋口より説明しました。

[リンク：公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：内閣府 規制改革推進会議](#)

[リンク：佐藤信行 researchmap](#) [リンク：樋口知之 researchmap](#)

6.データサイエンスセンター所長 樋口知之へのインタビュー記事が河合塾Guideline 2・3月号に掲載

河合塾の発行するGuideline（ガイドライン）2・3月号に、AI・データサイエンスセンター所長 樋口知之（理工学部・教授）へのインタビュー記事が「ビッグデータ活用とDXが前提となった現代社会 社会が求める人材の育成は私立総合大学の使命」と題して掲載されました。

『特集 2021年「ひらく 日本の大学」からみる大学のこれから』での同インタビューでは、ビッグデータ活用とDXが前提となった現代社会において、データサイエンティストに求められる能力や、2021年度から開始された「AI・データサイエンス全学プログラム」のめざすことなどが述べられています。

文系理系の学部を問わず、すべての学生が履修可能な「中央大学AI・データサイエンス全学プログラム」は、誰もが学んでいただきたいリテラシー科目「AI・データサイエンスと現代社会」、実務家の講義「AI・データサイエンス総合」、データサイエンスで活用されるプログラムや汎用言語を修得する「AI・データサイエンスツール」文系、理系、各学年が入り交じって実施される「AI・データサイエンス演習」など、リテラシーから応用基礎まで系統的に学ぶ仕組みが提供されています。

[リンク：公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：河合塾Guideline 2・3月号](#)

[リンク：河合塾Guideline 2・3月号 樋口知之インタビュー記事](#)

[リンク：AI・データサイエンス全学プログラム](#)

[（中央大学受験生ナビ Connect Web）](#)

7.副学長 武石智香子のインタビュー掲載 朝日新聞EduA 【特集】境界を越えた学び「文理の壁」を壊す

2022年2月13日発行 朝日新聞EduA (2022年2月号 vol.56) の特集記事「境界を超えた学び『文理の壁』を壊す」に、本学副学長 武石 智香子 (商学部・教授、全学連携教育機構長) のインタビュー記事が掲載されました。

「大学で広がる文理融合」として、中央大学で実施している「[AI・データサイエンス全学プログラム](#)」や「[FLP \(ファカルティリンケージ・プログラム\)](#)」について紹介し、米国の動向等について述べられています。



副学長 武石 智香子
(商学部・教授、全学連携教育機構長)

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:朝日新聞EduA56号](#)

[リンク:中央大・武石智香子副学長](#)

[「AI・データサイエンス科目に文系学生が殺到」](#)

8.プレスリリース: AI・データサイエンスの実践的な学びの場「iDSプログラム」を2022年4月より開始～8学部すべてから学生が集い、応用基礎レベルを修得～

中央大学は実社会の課題にデータ分析を応用できる人材の育成を目的として、「iDSプログラム」(英語名称: Chuo Intermediate Program for Data Science and AI) を2022年4月より新たに開始いたします。

「iDSプログラム」は、文理を問わず全学部生を対象としたAI・データサイエンス全学プログラムにおいて、基礎(リテラシーレベル)の次の段階(応用基礎レベル)となる実践的な学びの場として位置づけています。本プログラム参加者は、PBL(Problem-Based Learning 課題解決型学習)科目「AI・データサイエンス演習」を中心に、関連する講義科目を履修することで、AIやデータサイエンスの技術や知識を修得し、所属学部の専門分野においてAIやデータサイエンスを活用する力を身につけることを目指します。

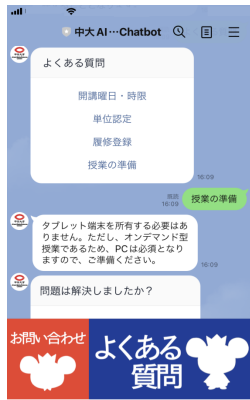


iDS プログラム ロゴイメージ

[リンク:公式 WEB プレスリリース](#)

9.運用開始のお知らせ：AI・データサイエンスセンター Chatbot

10.オンライン・レクチャーβ：社会の未来（2021年度第3回）株式会社日本データ取引所 事業企画部 部長 上島 邦彦 様



Chatbot利用画面イメージ



2022年3月10日より、AI・データサイエンスセンターChatbotの運用が開始されました。

AI・データサイエンス全学プログラムは全ての科目を遠隔授業で開設しています。オンデマンド型授業は、受講する学生にとって自分の生活スタイルや理解、進捗に応じて柔軟に受講可能なメリットがある一方、わからないことや質問、相談などはmanaba（中央大学で導入している教育支援システム）のスレッドなどを活用して講師やTA（ティーチング・アシスタント）に相談することとなり、すぐの回答が受けられない場合があります。また「こんな質問してよいのかな」と躊躇することもあるかもしれません。そこで、オンデマンド環境下の学修をより効果的にすすめるため、Chatbotを導入することとなりました。

オンライン・レクチャーβ 2021年度第3回は、株式会社日本データ取引所の上島様です。

「事実」への需要を背景にデータ流通ビジネスが発展途上であること、そしてビジネス上の見通しとして「データの民主化」についてお話しいただいています。また、大学でどのように学ぶべきかについてお話しいただいています。



動画より

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：中央大学AI・データサイエンスセンターLINE公式アカウント](#)

[リンク：中央大学AI・データサイエンスセンターChatbotご利用にあたって](#)

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク：これまでのオンライン・レクチャー](#)

[リンク：株式会社日本データ取引所](#)

[リンク：AI・データサイエンスセンターのオリジナルページ](#)

11.理工学部・准教授 酒折文武がExploratory presents 「学校からはじまるデータサイエンスの民主化に登壇

理工学部・准教授 酒折文武は、2022年3月18日（金）開催されたオンラインイベント「[学校からはじまるデータサイエンスの民主化](#)」に登壇し、「ExploratoryとRによる全学データサイエンス教育」と題して講演いたしました。



Exploratory.ioウェブサイトより

講演者の酒折文武は、中央大学AI・データサイエンス全学プログラムの科目「AI・データサイエンスツールⅢ」「AI・データサイエンスツールⅣ」を担当しています。ツールⅢでは、ビッグデータの分析、迅速な意思決定につなげるBI (Business Intelligence) ツールと、統計に特化したプログラミング言語であるRの基礎を学ぶことができます。

本イベントでは、ExploratoryをBIツールとして教育に導入している科目担当者の立場から講演します。

また、酒折 文武は理工学部数学科に所属し、統計的モデリング、スポーツ統計科学を専門として、統計科学研究室を主宰しています。

[リンク：公式WEB イベント](#)

[リンク：Exploratory, Inc](#)

[リンク：酒折 文武 \(researchmap\)](#)

[リンク：中央大学理工学部数学科 統計科学研究室](#)

12.所員

AI・データサイエンスセンター 所員

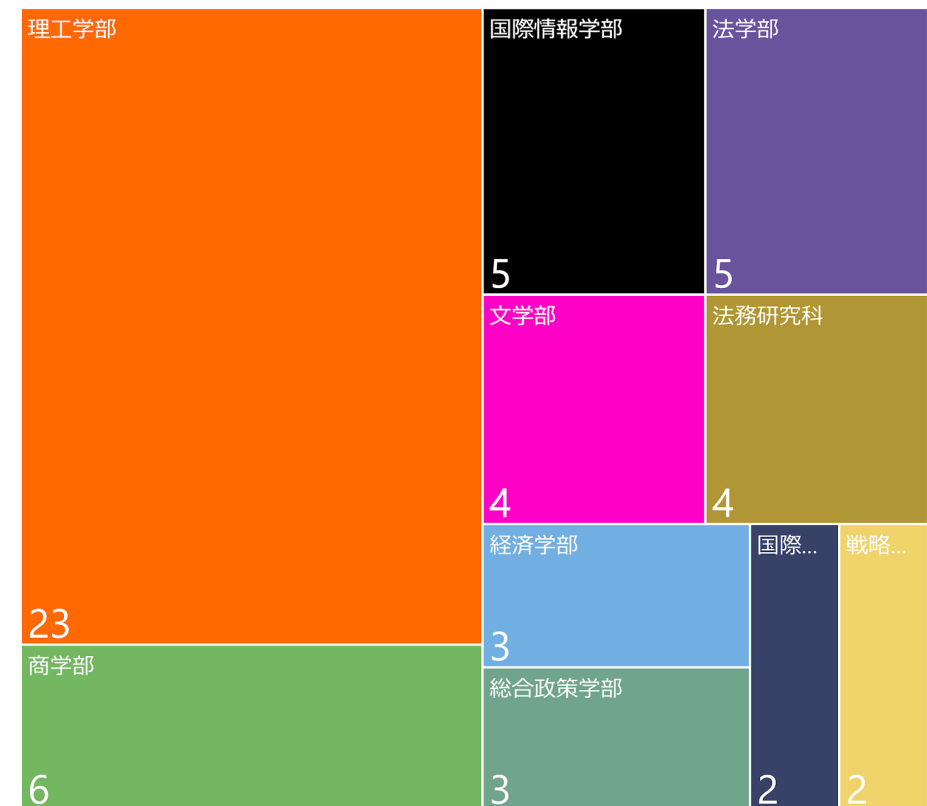
57

専任所員数

3

客員嘱託所員数

所属別 専任所員内訳



中央大学AI・データサイエンスセンター
ニュースレター No.6

発行日：2022年5月15日 発行

発行所：中央大学AI・データサイエンスセンター事務室
〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
ai-and-ds-grp@g.chuo-u.ac.jp
https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/

表紙：中央大学工学部写真会
https://www.chuo-u.ac.jp/activities/culture/culture_circle/culture99/

撮影者：小川 雅弘